

## 清水港日の出岸壁改良工事 事業概要

### 1. 事業の背景・目的

「明日の日本を支える観光ビジョン」（2016年3月30日策定）で掲げられた目標である「訪日クルーズ旅客数を2020年に500万人」の実現に向けた施策の一つとして「世界に誇る国際クルーズの拠点形成」が盛り込まれ、富士山の世界文化遺産登録等を追い風に客船の寄港が増加している清水港においても、2017年7月の「国際旅客船拠点形成港湾」指定を機に更なる大型客船対応の充実が望まれている。

一方、同港における客船の受け入れ拠点である日の出地区は、岸壁の供用から30年余りが経過しており、老朽化の進行や大型客船の更なる寄港増等への対応が課題となっている。

以上のことから、当該地区の岸壁を延命化し、客船等の受け入れ拠点として活用するための改良工事を行う。

### 2. 期待される整備効果

本改良工事にあたっては、大型客船対応を考慮した改良も併せて行うこととし、以下の整備効果を実現する。

- (1) 老朽化した施設の更なる長期的利用
- (2) 大型客船の2隻同時受け入れ等、客船の受け入れ拠点としての対応能力向上

#### 【位置図】



【バース利用状況（現状・想定計画）】



【クルーズ船等の清水港入港実績】



【クルーズ船着岸状況】



日の出岸壁へのクルーズ船2隻同時接岸状況(2018年4月13日)  
スターレジェンド(1万トン級)、セレブリティ・ミレニアム(9万トン級)